

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		議員の報酬等の経費				
	担当課・係名		議会事務局				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	01 議会費		中分類	01 行財政改革の推進	
		項	01 議会費		小分類	01 町行政のあり方の継続的検討	
目		01 議会費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R元予算
	総事業費（千円）		78,855	78,646	72,506	72,365	74,601
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	78,855	78,646	72,506	72,365	74,601
※H29・H30予算は最終予算額。R元は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	議員						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	様々な議員活動を通じて政策能力の向上を図り、町行政に対してより具体的な政策提言ができるようにする。						
⑤	事業概要						
	<p>議員の報酬・手当・共済負担金・旅費等議員活動に係る経費である。</p> <p>【所管事務調査及び視察研修】</p> <p>(1) 常任委員会視察研修（総務教育・産業民生）・時勢にあった視察先を選定し、有意義に進めている。</p> <p>(2) 議会運営委員会視察研修・議会活性化方策の取り組み状況、議会運営全般について研修を行っている。</p> <p>(3) 議会広報常任委員会視察研修・議会広報の編集方法及び今後の課題などについて、先進地を視察し、議会広報編集に活かしている。</p>						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	議会に対する住民の見方は厳しくなっており、議会改革が求められている。議会では議会活性化推進調査特別委員会を設置し、議員定数及び報酬等のあり方等を検討した。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	色麻町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	活動日数	単位：日	実績値	100	111	110	
			目標値	0	0	0	
定義		本会議(25)・議運(12)・総務教育(6)・産業民生(8)・議会広報(21)・予算委員会(5)・決算委員会(4)・議会活性化委員会(11)・全員協議会(11)・議員講座、セミナー、議員交流会等(7)の開催延べ日数					
B	議会懇談会	単位：人	実績値	408	84	315	
			目標値	0	0	0	
定義		平成30年度は全行政区(25行政区、24カ所)で議会懇談会を開催した。計315名の参加を頂き、議会に対する要望並びに町政運営に関するご意見等を踏まえた懇談を行った。平成29年度は加美商工会色麻支部会員、婦人会、JA女性部並びに婦人防火クラブの婦人団体会員と議会懇談会を開催した。					
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A		単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ	最も適切な方法で行われている	5
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数	15 地方分権が進展することにより地方議会の役割の重要性が増してきており、社会情勢の変化による議会としての現状把握、さらに今後の方向性の検討が必要である。このようなことから、議会活性化推進調査特別委員会において継続的に調査・検討を行っている。	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	5
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数	15 町民の声を議会として町政へ反映させる手法については、まだまだ検討すべき点が多い。	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数	15 議員報酬については、平成17年～平成25年まで10%削減をしてきており、県内平均よりも低い水準となっている。費用弁償も本会議のみの支給としている。	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数	5 議員活動は、本会議・委員会等の出席日数や経費だけで評価できない面はあるものの、常に町民のニーズや時代の流れに即応できるように、各議員並びに議会としての研鑽を積んで、体制整備を行っていくべきである。	

⑪		
課長総括評価	町民の代表として福祉向上に果たす役割は大きく、自治体事務に対して監視機能を十分に発揮して、存在感のある議会を築くことが重要である。また、議会活性化推進調査特別委員会で決定した議員定数△3人、長期欠席議員の報酬減額等は今後の財政負担の軽減に大きく貢献するものである。しかし、議会としては絶えず議会改革に取り組む必要があり、時代にマッチし住民に理解される議会を目指していく必要がある。	
合計点	50	
今後の方向性	改善の上継続	

⑫		
二次評価		
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		議会事務に要する経費				
	担当課・係名		議会事務局				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	01 議会費		中分類	01 行財政改革の推進	
項		01 議会費	小分類		01 町行政のあり方の継続的検討		
目	01 議会費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>					
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R元予算
	総事業費（千円）		3,056	2,907	3,209	3,080	3,555
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
一般財源		3,056	2,907	3,209	3,080	3,555	
※H29・H30予算は最終予算額。R元は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
議員							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
必要最小限の経費で議会運営を図ることを目的とし、今後とも鋭意合理化に努める。							
⑤	事業概要						
議会事務に要する一般経費 ①賃金 ②報償費 ③交際費 ④需用費 ⑤役員費 ⑥負担金補助及び交付金等							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：—	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：—	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	地方分権の進展に伴い、議会の運営方法等について時代に即応した体制並びに考え方等が求められている。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	議会運営に関する事務であり、経常事務であることから、このような評価とした。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	必要最小限の経費で効率的な事務処理に努めている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	効率的な事務処理に努めている。

⑪	課長総括評価 合計点 50	これまでも経費の節減に努めており、今後も継続する。
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		会議録作成事業				
	担当課・係名		議会事務局				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	01 議会費		中分類	01 行財政改革の推進	
項		01 議会費	小分類		01 町行政のあり方の継続的検討		
目	01 議会費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>					
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R元予算
	総事業費（千円）		1,671	1,656	1,677	1,271	1,708
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	1,671	1,656	1,677	1,271	1,708
※H29・H30予算は最終予算額。R元は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町民・議員・職員							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
会議録を通じて議会に関する全て（会期日程・議事日程・会議に付した事件・質問及び答弁内容等）を広く公開する。							
⑤	事業概要						
会議録の作成（音声データからの反訳）にかかる事業である。 年4回の定例会議（3月、6月、9月、12月）と予算審査全員特別委員会並びに決算審査全員特別委員会の反訳は業者に委託している。それ以外の定例会議（臨時議会）と常任・特別委員会、議員全員協議会については職員が反訳している。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
委員会、全員協議会等の開催回数の増加に伴い、会議録作成に要する時間が年々増加傾向にある。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
地方自治法、色麻町議会会議規則、色麻町議定会の通年開催に関する要綱、色麻町議会全員協議会運営要綱							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	会議録作成委託時間	単位：時間	実績値	60.5	97.0	74.5	
			目標値	0.0	0.0	0.0	
定義 会議録作成委託時間。H30は定例会（6月、9月、12月、3月）46.0時間、決算認定審査特別委員会12.5時間、予算審査特別委員会16.0時間を委託した。							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A		単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	現在の事務局の職員配置（嘱託職員含む）と会議録作成業務委託を効率的に組み合わせることにより、現在の方法が最良と判断した。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	本業務は必須事務であり、かつ経常事務であることから、事務の有効性の評価という点ではなじまない。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	反訳業務の委託は、定例会及び予算・決算特別委員会、議会活性化推進調査特別委員会に必要最低限に限定し、経費節減に努めている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	会議録の作成にあたっては、経費と完成までの期間を考慮する必要があるが、現状としては適当と思われる。

⑪	課長総括評価 合計点 50	会議録作成は地方自治法第123条にあり、最重要な書類としての位置づけで作成をする。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		議会広報広聴事業				
	担当課・係名		議会事務局				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	01 議会費		中分類	01 行財政改革の推進	
項		01 議会費	小分類		01 町行政のあり方の継続的検討		
目	01 議会費	重要推進プロジェクト該当の有無			<input type="checkbox"/>		
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R元予算
	総事業費（千円）		2,126	2,121	2,126	2,122	2,403
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	2,126	2,121	2,126	2,122	2,403
※H29・H30予算は最終予算額。R元は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町民							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
町民が議会だよりを読むこと及びインターネットでの議会中継配信の視聴により、その内容並びに審議過程を把握でき、議会に対する町民の関心を高めることができる。							
⑤	事業概要						
<p>【議会だよりの発行】 議会広報常任委員会で定例会毎に年4回発行。 (主な内容) ・一般質問 ・本会議、委員会での審議内容及び活動内容 ・町民の声 ・その他、議会の決定した内容等</p> <p>【議会中継のインターネット配信（生中継及び録画映像）業務】</p>							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
<p>インターネットの利用者の増加並びに町内へのインターネット高速回線網の整備が進んだことにより、平成22年12月定例会から議会中継のインターネット配信を始めた。 当初はパソコンでの視聴のみであったが、町ホームページのマルチデバイス対応により、現在ではスマートフォン、タブレットでも議会中継等の視聴が可能となった。</p>							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：回	実績値	4	4	4		
		目標値	4	4	4		
定義	議会だよりの年間発行回数						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：件	実績値	9,958	7,535	2,951		
		目標値	0	0	0		
定義	インターネットでの議会生中継及び録画中継のアクセス数の合計						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	議会広報による活字での情報提供並びに映像での情報提供により、議会での審議過程をつまびらかに、より多くの方に、また正確かつ迅速に行うことができる。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	住民が議会の審議状況を把握するのに大変有効な事業である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	有線放送、インターネットライブ中継、録画配信並びに議会だより発行により、音で聞く、映像で見る、活字で見るという多種多様な方法で情報を提供している。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	現在、リアルタイムで有線方法及びインターネットによる生中継、概ね4日目以降のインターネットによる録画中継、さらに議会広報での活字によるものと、住民各々が自分の好みや状況に応じて選択できる体制を整備している。

⑪	課長総括評価 合計点 50	町政の情報を町民に周知する事業として、また、多くの町民が町政に関心を持ってもらうための事業でもあり、必要不可欠なものである。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		監査委員の報酬等の経費				
	担当課・係名		議会事務局				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	01 行財政改革の推進	
項		06 監査委員費	小分類		01 町行政のあり方の継続的検討		
目	01 監査委員費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>					
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R元予算
	総事業費（千円）		1,195	1,181	1,142	1,102	1,142
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	1,195	1,181	1,142	1,102	1,142
※H29・H30予算は最終予算額。R元は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
監査委員							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
監査委員が職務を適時かつ適切に行えること、併せて予算執行の適正性等を監査する。財務事務が適法且つ合理的に執行される。							
⑤	事業概要						
監査業務に要する経費【報酬・旅費・需用費・負担金補助及び交付金】							
【検査及び各種監査】							
○例月出納検査・・・毎月25日検査。監査委員による現金出納検査。							
○定期監査・・・7月、2月実施。財務に関する事務の執行並びに運営に係る事業の管理が適法・適正、且つ効果的に行われているか監査。監査報告書の作成、町長への報告。報告書の公表。							
○随時監査・・・4月実施。監査報告書の作成、町長へ報告。報告書の公表。							
○財政援助団体に関する監査・・・必要に応じて実施。							
○決算審査・・・7月～8月にかけて全課を対象に実施。各般にわたる事業が予算に定める目的に添って効果的、合法的に執行されているかを審査する。決算意見書の作成、町長への報告。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
監査基準の策定が必要となる（令和2年4月1日施行）							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
地方自治法第233条第2項、第241条第5項、地方公営企業法第30条第2項、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：—	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：—	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	監査の手法については、住民ニーズや社会情勢の変化を十分考慮し、他団体の事例を参考にするなどして、その充実に努めていく必要がある。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	監査委員は、地方公共団体の必置機関であり、適正な業務執行に努めている。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	必要最小限の経費かつ効率的な監査により、公正で合理的かつ能率的な町の行政運営確保に努めている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	本町として、概ね適切な行財政運営が確保されている。

⑪	課長総括評価 合計点 50	地方自治法第195条に基づき行っている業務で、監査に要する経費は必要最低限なものとなっている。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		人事管理に関する事業				
	担当課・係名		総務課 総務係				
	予算科目	会計区分	一般会計	基本計画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	01 行財政改革の推進	
項		01 総務管理費	小分類		01 町行政のあり方の継続的検討		
目	01 一般管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>					
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		9,299	8,678	12,098	11,856	14,775
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
一般財源		9,299	8,678	12,098	11,856	14,775	
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
職員							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
町の施策や事業を効率的かつ円滑に推進するため、定員適正化計画に基づいて行う。最小の経費で最大の効果を得るとともに、適切な人員配置を行うことで、新たな行政需要及び社会環境の変化に対応する人事管理ができる。							
⑤	事業概要						
人事に関する必要経費 雇用保険料、人事ソフト使用料、人事月報、県公平委員会負担金、全国町村会総合賠償補償保険料等							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
定員適正化管理に基づき、職員数の適正管理を実施し、ほぼ目標を達成した。しかし、職員の業務内容は年々複雑化し、事務量は増加している中で、新たな事務も生じており職員数を増加せざるをえない状況である。今後は、再任用職員が年々増加する見込みであり、そのことを考慮した定数管理を行っていかねばならない。また、再任用職員の配置についても、職員の尊厳を損なわないような配置が必要である。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
色麻町職員定数条例、職員の再任用に関する条例、色麻町再任用制度事務取扱要綱、色麻町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例、色麻町一般職の任期付職員の採用に関する規則							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	職員数	単位：人	実績値	112	112	109	
			目標値	106	110	114	
定義 実績値は定員管理実態調査より、目標値は色麻町定員管理適正化計画より。							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	100	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	計画に対する職員数	単位：%	実績値	95	98	105	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 13	平成29年度末定年退職者6人、勸奨1人、死亡1人、再任用1人の計9名に対し、平成30年度新規採用2人、再任用採用6人の計8人の採用を行い定員の確保に努めた。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	有効である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	業務に対する職員数の削減は限度に達している為、現状の人員の維持を目標としつつ、職員の知識の向上を目指す。しかしながら、増員が必要になっているのが現状である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	平成29年度末定年退職者6人、勸奨1人、死亡1人、再任用1人の計9名に対し、平成30年度新規採用2人、再任用採用6人の計8人の採用を行い定員の確保に努めた。

⑪	課長総括評価 合計点 42	定員適正化計画に従って定員管理を実施してきたが、絶対数が少ないので個々の能力向上が課題となる。人件費とともに定員適正化計画を見直し、職員数の確保に努める。平成26年度から再任用制度が開始されたが、今後再任用年数が複数年になってくるにあたり、職員の配置場所及び2年目以降の勤務時間（短時間勤務等）を整備する必要がある。
	今後の方向性	改善の上継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		秘書に関する事業				
	担当課・係名		総務課 総務係				
	予算科目	会計区分	一般会計	基本計画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	01 行財政改革の推進	
項		01 総務管理費	小分類		01 町行政のあり方の継続的検討		
	目	01 一般管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		2,234	2,024	2,029	1,772	2,239
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	2,234	2,024	2,029	1,772	2,239
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町長、副町長							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
町長、副町長が本来の職務に専念することができるよう環境を整え、調整運営を円滑にする。執務時間を効率的に活用できるようにする。							
⑤	事業概要						
町長のスケジュール管理や日程の調整を行う。また、町長交際費・会議出席旅費、それに伴う高速道路使用料・駐車場使用料等。広告料等。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
事業の透明化が求められており、平成23年度から交際費の使途及び額をホームページで公表している。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
特になし							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	設定困難	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	設定困難	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 13	町長・副町長の職務環境を整備することは、町政運営を円滑にするためにも必要不可欠である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	有効である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	交際費については、ご祝儀の金額は3千円とし、補助金を出している団体にはご祝儀等を廃止している。地区新年会と運動会のご案内は25年度からいただかないよう連絡済みである。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	スケジュールについては、確実に管理調整を実施している。交際費・食糧費の支出に対する住民の関心が高まっており、行財政改革に沿った経費節減に努めるとともに、交際費の内容をホームページで公表し透明性を図った。

⑪	課長総括評価	スケジュール管理等は今までどおり実施し、交際費等は23年度から継続公表しており、透明性を高める。
	合計点 41	
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		福利厚生に関する事業				
	担当課・係名		総務課 総務係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	01 行財政改革の推進	
項		01 総務管理費	小分類		01 町行政のあり方の継続的検討		
	目	01 一般管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		2,928	2,865	2,915	2,794	3,392
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	2,928	2,865	2,915	2,794	3,392
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	職員（嘱託職員を含む）						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	職員（嘱託職員を含む）の健康管理や健康増進を図り、快適な職場の安全衛生環境をつくる。						
⑤	事業概要						
	健康診断・人間ドック・産業医相談体制の整備と講話・各種講座・安全運転講習会等						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	健康管理については、個々の自己管理によるものから、人間関係によるストレス等が原因と思われるものに変化しつつある。平成27年12月からストレスチェック制度が義務づけられたことに伴い、平成28年度からストレスチェックを実施した。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	色麻町職員安全衛生管理規程						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	設定困難	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	設定困難	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 13	妥当である
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	職員が安全で快適な職場環境を通じ職務に専念できるため、有効性はあると思われる。また、健康診断、人間ドック、ストレスチェックについては実施後のフォロー体制の整備に努め、有効性を高める。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	効率的である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	環境整備については、ほぼ実施している状況である。

⑪	課長総括評価 合計点 42	定員適正化と相まって個々の負担が大きくなっているのが現状である。このような中、メンタルケアの方法が課題である。また、職員の検診結果の把握、再受診の勧奨等、職員の健康状態を常に保つよう実施された。
	今後の方向性	改善の上継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		職員研修に関する事業				
	担当課・係名		総務課 総務係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	01 行財政改革の推進	
項		01 総務管理費	小分類		01 町行政のあり方の継続的検討		
目	01 一般管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>					
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		1,680	1,548	1,736	1,640	1,360
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	78	251	341	503	376
		一般財源	1,602	1,297	1,395	1,137	984
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	職員						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	職員の資質の向上と知識の習得に務め住民サービスの向上に努める。						
⑤	事業概要						
	職員の研修に要する経費等（新規採用職員研修、監督管理者等の階層別研修、専門研修、全国市町村中央研修所の研修、全国市町村国際文化研修所等の研修）、免許等取得助成金						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	職員の資質の向上と知識の習得は、住民サービスの向上に繋がるため、多くの職員に受講を促したいが、業務量が年々増加しているためか、研修に参加できない状況になっている。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	色麻町職員の免許等取得の支援に関する要綱						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指 標 名			H28	H29	H30	
A	研修参加人数	単位： 人	実績値	32	23	20	
			目標値	0	0	0	
定義	実績値は研修参加人数（町政のあゆみ各種研修会参加者数）						
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指 標 名			H28	H29	H30	
A		単位： —	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 13	研修について豊富なノウハウを持つ宮城県市町村職員研修所・市町村アカデミー等が主催する各種研修に積極的に参加させている。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 13	多種多様化する住民ニーズに対応するためには、職員の資質の向上と知識の習得が必要不可欠である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	効率的である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	3
評価の説明 点数 3	階層別研修については、対象者を公開し指名参加としている。平成30年度には、県建設センターや県町村会の助成対象の研修に参加する等、専門的なノウハウを身に付けることができる研修参加も行った。

⑪	課長総括評価 合計点 42	階層別研修者及びアカデミー研修者については、参加するまで対象者とする。研修委員会などにより、研修のあり方を関係職員で協議しながら進めていく必要がある。
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		法令追録に関する事業				
	担当課・係名		総務課 総務係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	01 行財政改革の推進	
項		01 総務管理費	小分類		01 町行政のあり方の継続的検討		
目	01 一般管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>					
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		4,833	4,808	6,149	6,037	5,505
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	4,833	4,808	6,149	6,037	5,505
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
職員及び住民							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
町民サービスの基盤となる文書、事務の適性かつ効率的な管理を図る。 実務能力と責任能力を併せもつ職員を育成する。							
⑤	事業概要						
庁内各課の法令集追録等に関する経費、町例規集システム使用料。 平成30及びR1年度は会計年度任用職員制度例規整備支援業務の委託を実施。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
各社Web上での法制執務、行政実務についてのサービスも開始していることから、効率性の高いものを選択し、実施していく。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
特になし							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	設定困難	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	設定困難	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 13	妥当である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 13	有効である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	効率的である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	確実性のある法制執務の執行のため、事前情報サービスの提供等の実施を行っている。

⑪	課長総括評価 合計点 43	インターネットによる情報収集等が可能で利用頻度が低下してきている法令集等は見直しを行いながら、引き続き実施していく。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		一般庶務に関する事業				
	担当課・係名		総務課 総務係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	01 行財政改革の推進	
項		01 総務管理費	小分類		01 町行政のあり方の継続的検討		
	目	01 一般管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		6,808	5,758	5,310	4,928	5,080
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	6,808	5,758	5,310	4,928	5,080
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	職員						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	職場環境の整備を図る。						
⑤	事業概要						
	職員が使用する事務用品・新聞購読料・弁護士委託料・負担金等						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	平成25年1月より、町の事業遂行に関し、法律上の問題について相談に応じていただくため、新たに弁護士委託料を計上している。また、訴訟案件の増加により、弁護士委託料は増加している。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	特になし						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	設定困難	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	設定困難	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	共通物品については、単価の安い業者を選定発注し経費節減に努めている。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	共通物品については、単価の安い業者を選定発注し経費節減に努めている。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	共通物品については、単価の安い業者を選定発注し経費節減に努めている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	納入価格が限界になってきており、各社納入価格に差異は見られなくなってきた。そのため、共通物品・図袋等については、単価の安い業者を選定発注し経費節減に努めている。

⑪	課長総括評価 合計点 40	納入価格の他に調達コストも考慮し、引き続き実施。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		文書事務に関する事業				
	担当課・係名		総務課 総務係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	01 行財政改革の推進	
項		01 総務管理費	小分類		01 町行政のあり方の継続的検討		
	目	02 文書管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		10,971	10,838	10,924	10,473	11,533
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	10,971	10,838	10,924	10,473	11,533
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	職員						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	適正で効率的な文書管理事務を執行する。						
⑤	事業概要						
	郵便料、コピー用紙の購入、文書管理システム使用料、印刷機・輪転機の借り上げ						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	国や県からの通知文書、調査書類についてはメールで送付される。特に調査書類については、調査要領、調査システム説明書、調査表とかなりの枚数となる。そのため、市町村ではコピー枚数が増加している。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	特になし						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	設定困難	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	設定困難	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	文書管理システムにより、公文書の適切な管理の一助となっている。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	3
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	3
評価の説明 点数 10	起案收受文書を紙だけでなく、データで管理する事により文書番号の発番管理や過去に作成した起案收受文書が容易に検索できる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	平成27年10月からサーバーをクラウド化する事により、更に効率的かつ安全に文書データを保守管理できるようになった。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	平成23年度よりシステムが本稼働し、各職員にシステム利用が浸透した。平成27年10月からのクラウド化により、さらに保守管理の効率性や安全性の向上が図られた。

⑪	課長総括評価 文書管理は行政事務の基となるものであり、かつ情報公開制度の運用上重要な事務である。文書の量も年々増加してきており、書庫にも限界があり電子媒体による保存など適切な保存管理に努める。
合計点 38	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		庁内電算管理に関する事業				
	担当課・係名		総務課 財政係				
	予算科目	会計区分	一般会計	基本計画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	01 行財政改革の推進	
項		01 総務管理費	小分類		01 町行政のあり方の継続的検討		
目	01 一般管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>					
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		8,857	8,856	4,666	4,666	4,055
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	8,857	8,856	4,666	4,666	4,055
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町職員							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
各種調定や支払等の会計業務、予算編成や決算統計といった財政業務の効率化を図るために公会計システムを導入し、システム会社（株式会社TKC）と契約しシステムの使用料を支払う。							
⑤	事業概要						
・株式会社TKCに支払うTASKクラウド公会計システム使用料及び基盤利用料							
【内訳】							
①財務ソフトウェアレンタル料、②基盤システムサービス利用料							
③公会計システムリアルタイム仕分けシステム④行政評価システムソフトレンタル料（R1より廃止）							
※H29は財務会計システム等使用料（4,666千円）に加え、公会計システム財務諸表基礎資料作成業務委託料（4,190千円）を支出している。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
・経費等の節減を図ることが求められ、24年度より、公会計システムに移行し、それに伴い、庁舎内で管理していたサーバーをクラウドに移行した。（回線は使用するが、リース料や保守委託料が節減できる。）							
・事業費の見直しに伴い、令和元年度より行政評価様式の作成方法を従来のシステムで作成する方針から26年度まで行っていたエクセルで自前で作成する方針に変更したため、行政評価システムソフトレンタル料分の委託（648千円）を廃止した。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
特になし							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	設定困難	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	設定困難	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	職員が手動で財政業務を執り行うよりも、時間効率や職員負担の観点から公会計システムを導入して実施することが妥当といえる。
ア 長期的な効果が期待できる	
イ 目的を達成するために有効な事業である	
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	
評価の説明 点数 12	決算統計や予算編成の取りまとめは公会計システムを用いて行っているため、事業効率性の観点からも有効性は高いといえる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	コスト面の見直しを行い令和元年度から行政評価システムを廃止した。今後も最低限度の経費で実施するよう努める。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	コスト面の見直しを図り、効率的に運用されている。

⑪	課長総括評価 合計点 40	・ 財政業務に公会計システムを用いることで事業効率の向上やが職員の事務負担の軽減が図られるため、今後も継続して行っていく。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		庁舎維持管理事業				
	担当課・係名		総務課 管財消防係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	01 行財政改革の推進	
項		01 総務管理費	小分類		01 町行政のあり方の継続的検討		
	目	06 財産管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		31,995	31,187	22,929	22,563	22,913
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	162	161	162	166	162
		一般財源	31,833	31,026	22,767	22,397	22,751
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町民及び役場職員							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
来庁者及び職員に対し、庁舎等の維持管理を行うことで常に良好な状態で利用していただき、安定した行政サービスを提供できるようにすること。来庁者への利便性・職員の良い執務環境の整備等。							
⑤	事業概要						
庁舎の施設の維持管理・設備の維持管理・施設の管理委託・庭木芝生等の環境整備等身障者用トイレの増設							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
S53年に建設され、40年以上経過しており老朽化しているが、耐震改修、冷暖房改修、照明器具改修は完了しており、29年度事業の多目的トイレの設置も完了している。 今後は、役場庁舎前駐車場の舗装打換の実施や小規模な修繕が予想される。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
色麻町庁舎管理規則							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
A	庁舎維持管理費	単位：千円	実績値	29,804	31,187	22,563	
			目標値	0	0	0	
定義							
B	庁舎光熱水費	単位：千円	実績値	6,305	6,777	6,998	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
A	多目的トイレ設置 台数	単位：台	実績値	0	0	1	
			目標値	0	0	0	
定義							
障害者や子供連れなど多様な人々に対応するため、多目的トイレを設置した。							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 14	庁舎の管理は町単独で行う必要がある。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	維持管理及び維持修繕が適切に行われたため、庁舎内の事故発生もなく安全に維持されている。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 13	冷暖房改修及び照明器具改修を行っており、光熱水費及び燃料費は抑制される。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	電力料金の値上げがあり、光熱水費の高騰が懸念されるため、より一層の節電が求められている。また今後は老朽化による小修繕の発生があると考ええる。

⑪	課長総括評価 安定した行政サービスを提供するため、今後も適正に維持管理していくこととする。
合計点 47	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		公用車維持管理事業				
	担当課・係名		総務課 管財消防係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	01 行財政改革の推進	
項		01 総務管理費	小分類		01 町行政のあり方の継続的検討		
目	06 財産管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>					
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		5,272	4,921	9,565	8,996	5,994
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
一般財源		5,272	4,921	9,565	8,996	5,994	
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町民及び役場職員							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
<p>公用車を必要とする各課が迅速にかつ効果的に使用可能とし、安全運転で職務に遂行できるようにする。公用車を一括管理し稼働率の向上及び執務時間の有効配分を図る。又、安全管理を行い、職員の事故防止に努める。</p>							
⑤	事業概要						
<ol style="list-style-type: none"> イントラネットによる公用車の一括管理 町有自動車損害共済事務 公用車の事故処理 公用車購入等 安全運転管理指導 							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
老朽化している公用車については更新の必要があり、今後は、燃費等を考慮し軽自動車の導入を検討する。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
公用車輛及び車庫管理規則・マイクロバスの使用に関する取扱要綱・道路交通法							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	公用車保有台数	単位：台	実績値	80	80	83	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	町が単独で行う事業であり、必要経費である。 なお、リースについても検討していく必要がある。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 13	公用車を維持管理していく上で妥当である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 13	一部かなり老朽化している車両もあり、計画的な更新が必要である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	公用車の必要性を認識して使用し人身事故もないが、物損事故による車両修繕があり修繕料が多少増加している。今後、細心の注意を払って運転するよう指導が必要である。

⑪	課長総括評価 今後、細心の注意を払って運転するよう指導が必要である。
合計点 43	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		町有建物管理事業				
	担当課・係名		総務課 管財消防係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	01 行財政改革の推進	
項		01 総務管理費	小分類		01 町行政のあり方の継続的検討		
	目	06 財産管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		16,507	16,425	2,459	2,346	1,741
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	9,415	9,400	18	0	20
		一般財源	7,092	7,025	2,441	2,346	1,721
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
産業会館・旧六の国共済等の町有建物							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
町有建物の適正な維持管理・運用。各施設の維持管理をし、町民に安全かつ良好に利用してもらう。							
⑤	事業概要						
各町有建物に対する、町有建物災害共済保険手続き事務・建物災害処理・維持修繕等							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
旧共済組合事務所や、役場前旧店舗を改修し、色麻町シルバー人材センターや加美商工会に貸借契約し貸付を行っている。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
指標名			H28	H29	H30		
A	維持管理費	単位：千円	実績値	1,902	1,915	1,588	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
指標名			H28	H29	H30		
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	町有施設の維持管理のため、町で行うべき事業である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	適切な維持管理を行うための必要経費である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 13	維持管理を考えると妥当である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	成果指標の設定は困難である。

⑪	課長総括評価 合計点 42	町有建物の適正な維持管理、運用に努め有効に活用していくこととする。
今後の方向性	<input type="text" value="現状のまま継続"/>	

⑫	二次評価	
今後の方向性	<input type="text"/>	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		町有地管理事業				
	担当課・係名		総務課 管財消防係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	01 行財政改革の推進	
項		01 総務管理費	小分類		01 町行政のあり方の継続的検討		
目	06 財産管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>					
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		2,134	1,650	3,055	3,013	2,599
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	18	0	20	0
		一般財源	2,134	1,632	3,055	2,993	2,599
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 用地（公有財産）の財産管理						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 公有財産の適正な管理・運用。 1. 財産を適正な価格で迅速に取得・処分する。 2. 財産の有効活用及び適正な管理を行う。						
⑤	事業概要 1. 土地（行政財産・普通財産）の管理及び処分。財産台帳の整備及び整理（得喪）等の総括管理 2. 法定外（道・水路等）の境界立会及び境界確定等の事務。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 色麻町財務規則（公有財産管理規則）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指 標 名			H28	H29	H30	
	A	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
	B	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指 標 名			H28	H29	H30	
	A	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
	B	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	町有財産のため妥当である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 14	町有財産の管理のため有効である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 13	最低限の経費で管理している。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	成果指標の設定は困難。 未利用地や旧道、旧水路で既に利用されていない物件については、払い下げを推進すべきと考える。

⑪	課長総括評価 合計点 44	既に利用されていない未利用地や、旧道、旧水路については、今後も払い下げを推進していくこととする。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		大崎地域広域行政事務組合負担金事業				
	担当課・係名		企画情報課 企画調整係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	01 行財政改革の推進	
項		01 総務管理費	小分類		01 町行政のあり方の継続的検討		
	目	07 企画費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		5,703	5,703	8,537	8,537	9,826
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	5,703	5,703	8,537	8,537	9,826
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町民全般							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
共同処理事務による効率的かつ経済的な事務事業の運営及び住民サービスの充実。							
⑤	事業概要						
大崎地域広域行政事務組合における総務費（運営費）負担金							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
大崎地域広域行政事務組合格約							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	設定困難	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	消防・救急・ゴミ処理など生活に欠かせない事務を行っている。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	大崎地域において共同処理していることから、有効な行為であると言える。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	共同処理の形態は効率的ではあるが、個々の事務事業については改善の余地がある。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	達成されている。

⑪	課長総括評価 負担金増加の抑制策を検討する。 合計点 40
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	